

2010年4月12日

各 位

オリックス株式会社

「中国科学院」との戦略提携推進について

～「環境」をテーマとしたパートナーシップの構築～

オリックス株式会社(本社:東京都港区、社長:梁瀬 行雄)は、本日、中国科学院(1)100%出資の資産管理会社である中国科学院国有資産経営有限責任公司(2)と環境分野における戦略提携推進に関する協議書に調印しましたのでお知らせします。

これにより、両者は中国の低炭素社会を実現するために、「廃棄物発電」「水処理」「太陽光発電」「電気自動車」「燃料電池」などの領域で提携を行い、環境分野において多様なプロジェクトを協力して推進します。

- (1)中国科学院:中国最高レベルの科学技術学術機関及び自然科学・ハイテク総合研究センターとして、学術研究をベースに中国のIT・バイオテクノロジー・ハイテク業界をリードする政府組織。
- (2)中国科学院国有資産経営有限責任公司:最高研究機関である中国科学院が保有する国有資産の管理・運営を担う。レノボの大株主であり、中国科学院の傘下企業(400社強)の経営監督を行う。

【主な戦略提携の内容】

- (1)中国科学院傘下企業とオリックスグループによる廃棄物発電と水処理分野におけるプロジェクトへの共同参画。
- (2)中国科学院傘下企業の総合発電プロジェクト(太陽光、風力)への共同参画。
- (3)中国科学院傘下の研究機関および企業とオリックスグループによる電気自動車と燃料電池プロジェクトへの共同参画。
- (4)中国科学院の持つリソースと、オリックスグループの金融・環境分野におけるノウハウを融合する。中国での環境関連製品、技術および設備、金融サービスなどを、合弁方式含め、さまざまな形で環境関連プロジェクトを推進。

【戦略提携の背景】

2006年以降、オリックスグループは中国科学院国有資産経営有限責任公司との間で2つのプロジェクトを実行し、成果を上げています(オリックス・レンテックが中国科学院国有資産経営有限責任公司傘下企業と合弁会社を設立、中国科学院国有資産経営有限責任公司が主体となって設立したPEファンドに出資)。今回の提携は、これまでの成果による両者の信頼関係をもとに、提携レベルの向上、提携領域の拡大、更なる戦略提携の強化を目指す目的でなされました。

オリックスグループはこの戦略提携を契機として、中国科学院国有資産経営有限責任公司と緊密に連携し、ともに成長していくことを目指します。

【オリックスグループの近年の中国展開】

- 2004年8月 オリックス・レンテック株式会社が日本企業で初めてとなる測定機器レンタル会社「欧力士科技租賃(天津)有限公司」を設立。(2005年4月、上海に支店設置、現在の拠点数は6カ所)
- 2005年8月 オリックス株式会社が95%、上海市の直系日本企業である上海国際株式会社が5%を出資してリース会社「欧力士融資租賃(中国)有限公司」を設立(現在はオリックス98%、現在の拠点数は4カ所)
- 2006年1月 オリックス株式会社が中国鉄路物資総公司(国有資産監督管理委員会100%出資)とともに、中国初の鉄道專業リース会社「中鉄租賃有限公司」に25%出資。
- 2006年2月 オリックス・レンテック株式会社が中国最大手の電子測定機器商社である「北京東方中科集成科技有限公司」に25%出資(現在は34%)
- 2008年7月 オリックスグループが中国輸出入銀行などとの共同出資によって国科瑞華創業投資ファンドを設立。中国科学院国有資産經營有限責任公司傘下の中国科技投資管理有限公司が運営。
- 2009年12月 オリックス株式会社が、中国・大連市に、オリックス中国本社の欧力士(中国)投資有限公司(英文名:ORIX(China)Investment Co.,Ltd.)を設立。

以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

広報部：池田、前田 / Tel：03-5419-5102